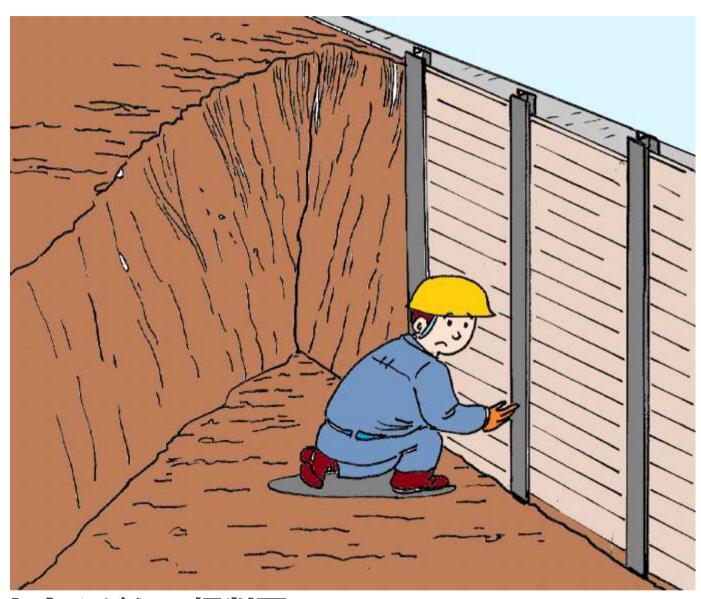
# 作業開始前の 3分 ( )



土止めがない掘削面で この後、なにが起こった?

はこうする! 私

## あなたの現場は大丈夫?

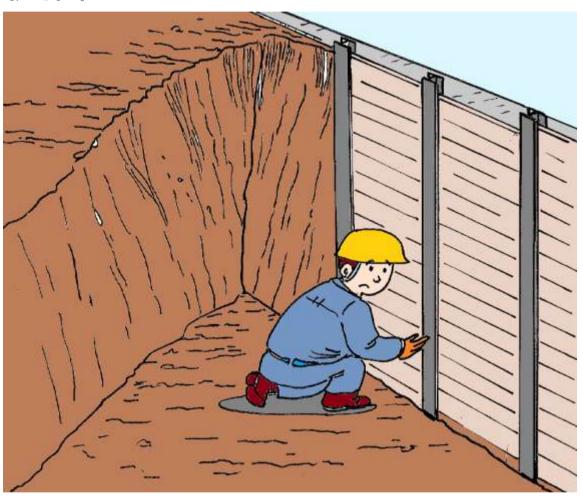
労働災害発生事例

横浜南署管内発生

## 土砂崩壊で埋まる

状況 発生日時 令和3年11月 1時45分頃 建築工事業

車両系建設機械により掘削した深さ約2mの根切り床で、山留めの横矢板壁の測定をしゃがんだ姿勢で行っていたところ、背後の地山が崩れ、地面に尻をついた体制で胸の高さまで土砂に埋まったもの。



### 災害のここをチェック

- 1 地山の掘削作業を行う場合には作業箇所、周囲の地山について、あらかじめ形状、地質、地層、き裂、含水、湧水などの状態についてボーリングその他の適当な方法により調査を行うこと。
- 2 上記調査結果に基づき、掘削面の下方で作業を行う場合にあっては掘削面の崩壊を防止するための防護の方法などを含む施工計画を立て、当該計画により作業を行うこと。
- 3 土砂崩壊により作業者に危険を及ぼすおそれがあるときは、あらかじめ土止め支保工を設け、防護網を張り、作業者の立ち入りを禁止すること、さらに地質の変化、異常な湧水等の状況の変化に応じて当該支保工を補強し、または掘削面の高さを低くし、若しくは掘削面のこう配を緩くすること

注:イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。